

層雲峡ビジターセンター



【エゾヤマザクラに止まるチゴハヤブサ／5月 上川町】

チゴハヤブサ

「キーッキーキー」 という甲高い鳴き声に振り仰ぐと、細長い翼に流線型のシルエット。チゴハヤブサが、羽ばたきもせずブーメランのように空を割いて飛び去って行きました。

北海道へは繁殖の為に、ちょうど桜の咲く5月上旬から中旬に飛来し、雌雄での求愛給餌や鳴き交わし、求愛飛行などが見られるようになります。チゴハヤブサは自分で巣を作ることはせず、カラスなどの古巣を利用します。

生息地は主に農耕地や原野などですが、近年は札幌や旭川など都市部での観察例が増えており、北海道では身近なハヤブサ類といえます。



【里山の春紅葉】

山の奥



白雲岳の幻の湖

ようやく層雲峡も春を迎え、ヤナギから始まった若々しい新緑が、一日一日と深まっていくのを見ているのは楽しみです。大雪山も黒々とした岩肌と白い雪がコントラストを描き、山の上にもそろそろ春の足音が聞こえ始めたようです。



06年5月24日・白雲平/ほぼ満水



07年5月6日/まだ湖はない



08年5月2日/消失の途中

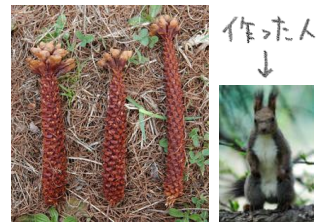


09年5月8日/消失の途中

5月中旬になると白雲岳の旧火山口底に「幻の湖」が現れます。冬の厳しい寒さに地中深くまで凍りついた土壌に、周囲の雪解け水が流れ込んで湖となるのです。湖が現れるのは約2週間ほどだけで、季節が進み、土壌の凍結が緩むと、スポンジに吸い込まれるように湖の水は地中に吸収され消えてしまいます。幻の湖とい

われる所以です。湖の出現時期はその年の積雪量や春先の気温などによって異なりますが、昨年、今年と湖の消失時期が早まっています。今年5月上旬に白雲岳を訪れたときにはすでに湖は消失の過程にありました。左の写真は2006年から今年までの湖の様子です。07年はまだ積雪が多く、同時期にはま

今日の千ピたおは。



エビフライ定食です

だ湖が出来ていませんでした。出現したのは5月下旬です。06年も出現時期は5月下旬でした。今後の継続した記録が必要になりますが、昨年今年に顕著な4・5月の気温上昇が、土壌の融解を進ませ、湖の消失時期を早めている大きな理由の一つではないかと考えています。

白樺シロップ



折れた白樺の枝から樹液がポタポタ。この季節、白樺が根から水分を吸い上げる力は目覚ましいもの。舐めたらほのかに樹の香り。

春の女神 ヒメギフチョウ



山間に咲いたカタクリに今年も美しい訪問者を見つけました。ヒメギフチョウの成虫が出現するのは5月上旬頃。その間のわずかに2週間ほどしか出会えることができません。成虫はその命を新しい卵に託すと一生を終えます。女神と喩えられるのも、その儚くも美しい姿からでしょう。

しかし私たちの視線からすれば、周りは「儚く見える」もので溢れています。カタクリにしても地上での生活は1、2ヶ月。一年の大半は地下での暮らしです。けれど繁殖を最大の目的とし、エネルギーを蓄えじつと成熟を待つ姿は、儚いというより、むしろ逞しい命なのです。

森のたね

景勝地探訪シリーズ②

大雪山麓を歩く ～三国山～

三国山の名は明治時代の石狩国、北見国、十勝国の三つの国の境にあることが山名の由来となっています。国を分けると同時に三国山山塊の小ピークには、三つの海を分ける分水嶺があることでも知られており、最近では新聞や登山ガイドでも紹介されるようになりました。

しかし、登山入口を示す案内標識も、整備された道もない為、道迷いも多く、登山の際は地図等の装備が必要です。

三国山へは、三国トンネル入口（上川町側）の左の沢沿い踏跡から登り始めます。途中、数回渡渉を繰り返して、沢地形が二股に分かれた所で右の沢に入ります。やがて辿っていた沢地形が笹の茂る急斜面に吸収されると、周辺はダケカンバやウラジロナナカマドの樹林帯になり、稜線に出ます。尾根に沿って左に辿っていくと、その先はハイマツ帯へと変わり、三つの国境稜線が交わる「北海道分水点」の標識が立つピークに到着します。三国山山頂は、分水点ピークから東側へ350mほ



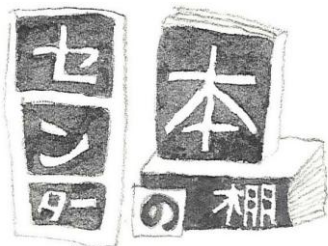
【三国山山頂から見た分水嶺(手前稜線)と表大雪山】

どの稜線上に見える三角形の山（標高1541m）です。

ピークからは表大雪からニペソツ、ウペパサンケまで望むことが出来ます。また、ハイマツとダケカンバが斜面を境にはっきり別れて分布するという興味深い植生を観察することができます。帰路は往路を辿ります。

♪ 三国山コースタイム ♪ （片道約3km）

- ① 国道273号線沿い三国トンネル上川側P→(0,1h)
- ② 三国トンネル上川口横→(0,4h) ③ 二股→(0,5h) ④ 分水点→(0,2h) ⑤ 三国山ピーク



鳥の巣の本

著者・鈴木 まもる
(岩崎書店)



「センターの本棚」は身近な自然にふれる本を紹介しています。図書は館内で閲覧できます。



芽吹き前のハルニレに、細い枝を上手に組んだ鳥の巣を見つけました。ちょっと宝物を見つけたような気分です。鳥の巣がスキです。小さな鳥が(大きなものもありますが)、せっせと巣材を集め、建築したのかと思うとそれだけで愛しくなってしまう。なかには、とても嘴ひとつで作ったとは思えないほど完成度の高い巣もあって、何と巧みに作られているんだろうと感心してしまいます。

鳥の巣はいろいろです。場所も形も大きさもみんな違ってきます。カッコウの仲間のように、人の巣に卵を預けて自分では巣を作らない鳥もいます。鳥の巣に惹かれる訳、それは鳥の生活、そして自然の不思議に惹かれるからなのです。



★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★

まじゅうとよは
スライドと映会
16:00より



【日時】7月11~20日 13:30~15:30
折って切って開いたら、あらすテキ♪
子供から大人まで楽しめます。
参加自由・無料/申し込みは不要です

■ 山麓トレッキング ~高原沼

【日時】6月21日(日) 8:00~15:00
【内容】早春の高原沼へ。登山のための体づくりと健康講座
【募集】15名
【集合】ビジターセンター
【持ち物】登山装備・昼食

■ 黒岳定点観察登山 ①②

【日時】7月4日/7月18日(日)
8:30~14:00
【内容】雪解けや高山植物の開花時期・分布を調査しながら観察していきます(全4回)
【募集】各回7名
【集合】ビジターセンター
【持ち物】登山装備、昼食、
ロープウェイ・リフト代実費

■ 山開き登山 ~西クマネシリ岳


【日時】7月12日(日) 6:30~16:00
【内容】花の季節です。通称オッパイ山へ
【募集】15名
【集合】ビジターセンター
【持ち物】登山装備、昼食、バス代1500円

いきものカレンダー

- 4/2 ホオジロ・ヒバリ・ハクセキレイ、4/4 クマゲラ・ミン
- サザイ・オジロワシ、4/8 ヤマゲラ・ベニマシコ・オオ
- アカゲラ、4/10 キジバト・エゾライチョウ、4/12 クマ
- ゲラ・ミンサザイ、4/14 ウグイス、4/17 モズ・カワラヒ
- ワ、4/18 ルリビタキ・オオジシギ・キクイイタダキ・イス
- カ・ヒゲマ足跡、4/21 アオジ、4/23 キセキレイ・ミズ
- バショウ、5/2 コマドリ・ヤブサメ、5/3 クロジ・センダイ
- ムシクイ・エゾムシクイ、ビタキ、5/6 エゾツツジ・チ
- ゴハヤブサ交尾、5/7 オオルリ・クロツグミ・ツツドリ
- 5/9 蝦夷山桜満開(上川)、5/10 蝦夷山桜開花
- (層)5/11 ヒメギフチョウ・アリスイ、ピンズイ5/12 メジ
- ロ、5/17 コルリ・キビタキ、5/18 センター桜開花、
- 5/21 エゾハルゼミ初鳴き



冬を共に過ごしたカメムシがようやく家から出て行ってくれた。ある時は服の中に、またある時は飲みかけの急須の中に彼らは潜み、その強烈な化学兵器に鼻をつまんだ日々。嗚呼どうか戻ってきてくれるなよと手を振り平穏を喜んだのは束の間だった。今度は蟻の輩が台所を狙っている。

発行:大雪山国立公園 
Tel 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401
HP アドレス <http://sounkyovc.town.kamikawa.hokkaido.jp/>
開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料
11月~ 5月/9:00~17:00月休(祝祭日翌日)